

第五十六回 帝國議會 貴族院 昭和二年度 第一豫備金 支出ノ件外一件特別委員會會議事速記録第三號

付託議案

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

昭和四年三月二十四日(日曜日)午後二時七分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御著席ヲ願ヒマス、是ヨリ昭和二年及昭和三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案、是ノ委員會ヲ開會イタシマス、大藏省政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山口義一君) 簡單ニ御説明ヲ申上デマス、昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付イタシマスル公債發行ニ關スル法律案ノ御説明ヲ申上デマス、只今議題トナッテ居リマスル法律案、即チ昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關シマシテ、陸海軍人等ノ功勞ガゴザイマシタ者ニ對シマシテ、恩賞ト致シマシテ一時賜金ヲ賜與スルノ必要ガゴザイマスルノデ、此賜金ハ公債證書ヲ以テ交付スルコトニ致シマシタガ、其爲ニ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、本案ヲ提出イタシマシタ譯デゴザイマス、ドウゾ御協賛アラ

ムコトヲ御願ヒ致ス次第アリマス

○政府委員(内田信也君) 私ハ海軍ニ關スル範圍内ニ於テ、山口參與官ノ御説明ヲ布行イタシタイト思ヒマス、海軍ノ行賞期間ハ昭和二年二月一日、即チ南京事件ノ起リマシタ前月ヨリ致シマシテ、昭和三年十一月十五日マデ、即チ陸軍ト同ジ日デアリマスガ、其日マデデアリマス、此期間ニ對スル行賞デゴザイマシテ、其行賞人員ハ二万八千二百七十七人デ、其平均ガ五十四圓弱ニナッテ居リマス、之ヲ前例ニ比較シテ見マサルト、大正三四年ノ戰役ガ一人ガ九十圓平均、大正四年カラ九年ノ歐羅巴戰役ガ百二十八圓平均ソレカラ大正十四年露領派遣ノ場合ガ一人九十二圓平均、今回ノガ只今申上デマシタ通り、五十四圓平均ニナッテ居リマス、ソレデ只今申上デマシタ人員ニ對スル行賞金額ノ總額ガ海軍ガ百五十一万八千三百三十一圓デゴザイマシテ、之ヲ額面二百五圓ノ公債ヲ以テ交付イタシマス、其發行價格ハ九十三圓デゴザイマスカラシテ、公債デ以テ額面百四十二圓ヲ發行イタシマシタ、ソレガ實價即チ九十三圓内デ百三十二圓餘ニナリマス、ソレデ端金十九万七千五百圓ト云フモノガ豫算ニ請求シテ居リマ

スル額デゴザイマス、即チ現金トシテ十九万七千圓、公債デ百三十二万六千圓ト云フ譯デゴザイマス、ソレデ衆議院ニ於キマシテモ、成ルベク上ニ薄ク下ニ厚イヤウニシロト云フ御話モゴザイマシタ、兵一人當リノ平均額ヲ只今申上デマスルト、將校ガ平均一人當リガ百九十三圓デ、準士官ガ八十四圓、下士官ガ六十四圓、兵ガ三十六圓、ソレカラ傭人、職工ガ三十六圓、斯ウ云フコトニナリマス、サウスルト、後程陸軍ノ政府委員カラ御説明申上ダレデアリマセウガ陸軍ノ方ガ將校ノ方ガ百五十六圓、兵率ガ五十八圓、海軍ノ方デハ只今申上デマシタ通り、將校ガ百九十三圓デ、兵ガ三十六圓、斯ウナリマスカラシテ、陸軍ハ將校ガ兵卒ノ三倍ニナッテ居ル、海軍ハ將校ガ兵卒ノ約五倍ニナッテ居リマス、如何ニモ海軍ノ方ガ大層餘許給與スルヤウナ風ニ見エテ居リマスルガ、實ヲ申セバ、此兩省ノ立前ガ陸軍ト海軍ト少シ異ナッテ居リマシテ、海軍ハ只今申上デマシタ通り、南京事件ノ前ヨリ昨年十一月十五日ニ至ル間、殊ニ濟南事件前ハ楊子江ノミニ限ラレテ居ッテ、其間ニ於テ成ルベク砲火ヲ交ヘズシテ、而シテ隱忍シテアノ激寒或ハ酷暑ト關シテ、而シテ帝國ノ

威武ヲ汚サマル範圍ニ於テ、成ルベク砲火ノ間ニ相見エルコトヲ避ケテ、帝國ノ權益ト居留民ノ生命財產ノ安固ヲ期スルト云フノガ任務デゴザイマシタノデ、所謂砲煙彈雨ノ裡ニ戰端ヲ交ヘルト云フコト、ハ趣ヲ異ニ致シマスルカラ、武功調査ト云フモノガ陸軍ノ武功調査ト云フモノト異ナリマシテ、向フニ在勤シテ居ッタ日月ニ依ッテ之ヲ計算シタノデアリマス、即チ此恩賞ヲ分ケテ三ツト致シマシテ一番低イノガ慰勞トシテ、此慰勞ト云フノハ兵ガ二十八圓、是ハ向フノ在勤ガ一箇月乃至一箇年ノ者ヲ慰勞イタシマシタ、ソレカラ功勞、是ガ在勤ガ一年乃至一年半、是ガ一人七十七圓最高級ガ功勞デアリマシテ、一箇年半以上、是ガ百七十圓、サウ三階級ニ分ケタノデゴザイマス、而シテ將校ハ度々交替スルコトガアリマセヌニ拘ラズ、兵卒ノ方ハ始終交替イタシマシタカラ、兵卒ノ方ハ在勤年限ガ非常ニ短ク、將校ノ方ハ在勤年限ガ非常ニ長イト云フコトト、又陸軍ト異ナリマシテ、海軍ノ方ハ割合ニ上級士官ガ多イ、例ヘバ陸軍ハ一個聯隊デハ大佐デ三千二百名ノ兵ヲ率キテ居ルガ、海軍ノ方デハ向フヘ行ッテ居ル利根トカ矢矧ト云フモノハ大佐デアルガ、三

百五十人乃至五百人ノ兵ニ對シテ大佐デアル、ソレデ海軍ノ方ハ上級將校ガ多イ、其割合ニ依リマシテ計算イタシマシタカラ、陸軍ノ將校ダト云フト大尉、中尉少尉ガ多イ、海軍將校ト云フト佐官ガ多イ、サウ云フ關係上カラ致シテ、此階級ガ多イト云フコトト、支那ニ駐在シテ居ル將校ノ方ガ日月ガ長イ、兵隊ノ方ハ交替ガ激シカッタト云フ點カラ算盤ヲ取リマシテ、是ガ三十六圓、百九十三圓デ、非常ニ將校ト兵卒ノ間ニ差違ガアルヤウニ一見見エマスガ、實際ニ於テハ決シテ陸軍ト相違ナイ、陸軍ト同ジ割合デ將校ト兵卒トガ區分サレテ居ルノデアリマス、此點ヲ御承知願ヒタイノデアリマス、尙ホ御質問ガゴザイマシタナラバ、又御答ヲ致シマス

○政府委員(竹内友治郎君) 陸軍ノ關係ニ於キマシテ、簡單ニ大體ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此度、此委員會デ陸軍關係トシテ、御審議ヲ願フ交付額ハ行賞獎金全體四百十三萬圓ノ中デ、公債ト致シマシテハ、三百九十七萬圓ヲ要求スル譯デアリマス、其中デ端金トナルベキ四十二萬九千圓餘ハ現金トシテ交付スルコトニ相成リマス、之ヲ先キニ申述ベマシタ公債ト合セテ見マスト、丁度四百十三萬圓餘ニナルノデゴザイマス、此行賞一時獎金四百十三萬圓ト云フモノヲ算出イタシマシタル豫算ノ

根據ハ、別ニ御手許ニ差上ゲテゴザイマスル表デ御覽下サイマスレバ、大要分ルコトト思フノデゴザイマスルガ、從來ノ色ミノ戰役ノ實例ニ徴シマシテ、大體功勞ナリ或ハ勳勞ナリ、或ハ軍功ナルモノガ大體ドノ位アルドラウカト云フコトヲ長年ノ材料ニ依ッテ、専門家ガ集メマシタ材料ノ大體ミノ所デ、兵隊ハ一人當リ幾ラ、將校ハ幾ラト云フ金額ヲ算出イタシマシタノデアリマス、ソレデモ算出ノ上カラ申シマスト、或ハ陸軍ノ方ガ金額ガ多クテ、海軍ガ少イトカ云フ風ナ相違ハアリマスアレドモ、實際之ヲ論功行賞ヲ致シマスル曉ニ於テ、各兵ナリ將校ナリ下士ナリニ當リマス實際額ニ至リマシテハ、一律ノ範圍ニ於テ、同一ノ標準ニ依ッテ行賞イタサレルノデアリマスルカラシテ、其間ニ大體ノ過不足ハナイ、厚薄ハナイト云フコトニ相成ルモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、然ラバ此陸軍ト海軍ノ目安ノ立テ方ガ違フノデ、ドウ云フ所デ同一ニナルカト申シマスト云フノニ、イツノ戰役ノ時デモ同ジデゴザイマスガ、愈、行賞ヲ致シマスニ先立テ、閣議ニ於テ此一定ノ標準ヲ決定サレマス、其決定セラレタル所ニ依ッテ、陸海軍兩省カヲ上申シタルモノヲ此標準ニ依テ裁定イタシマス、サウ云フコトニ相成リマスルノデ、結果ニ於テハ陸海軍トモ一ツモ厚薄ハナイヤウ

ニ出來ルモノト御承知置キヲ願ヒタイノデアリマス、而シテ此論功行賞ニ依リマシテ陸軍關係ニ於テ詮議セラルルモノハ昭和二年及昭和三年ノ兩年ノ間ニ於テ、一番初メ出テ參リマシタ第十師團ヲ先キト致シマシテ、最後ノ第三師團マデ全體ニ互ッテ詮議ヲ致スベキ計畫ニナッテ居ルノデゴザイマス、大體ノ標準ダケ申上ゲマシテ、尙ホ御質問ニ依テ御答ヘ申上ゲマス

○委員長(伯耆松平賴壽君) 御説明ハ略終シタヤウデゴザイマスカラ、御質問ガゴザイマスレバ伺ヒタイ

○和田彦次郎君 海軍ノ方ニ於キマシテハ行賞人員二萬八千二百七十七人、サウシテ出征軍人ノ數ハ二萬三千六百五十人、サウスルト此間ニ約五千人程ガ出征軍人外ノモノニ行賞ナサルヤウニ見エマスガ、其範圍ハドウ云フ範圍マデ御行賞ニナルノデアリマスカ

○政府委員(内田信也君) 御説明ノ通り四千二百五十名程内地部隊ニ對シテ行賞スルコトニナッテ居リマスガ、是ハ主トシテ出師準備等ニ直接關係ガアタモノ、殊ニ多クハ數カラ云ヒマス、佐世保ノ職工ナドガ數ニ於テ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、即チ佐世保ノ職工等ノ中ニハ向ウヘ出テ行ッテ艦船ノ修理等ヲヤッタモノガアルノデアリマス、向ウニ出テ居リマスル艦船修理

ノ爲ニ一々引上ゲテ來ルト云フコトハ、費用ト手數……日子ヲ費シマスルカラシテ、歸ッテ來ナイデ、態、佐世保迄歸還セシメズ、佐世保ニ居ル者デ向ウヘヤッタヤウナ者ハ、是ハ出征軍人ノ中ニ這入ッテ居リマセヌ、從ッテサウ云フ者、又ハ内地ニ居ッテ徹宵シテ出師準備ニ掛タリ、又其修理作業ニ掛タヤウナ者ガ這入ッテ居リマス、ソレデ前例ニ依リマスト、矢張り出征軍人ノ行賞人員ノ差ハ前ノ方ガズト開キガアルノデゴザイマス、チヨット表デ御覽ニナリマスト分リマス、ソレデ尙ホ此内地ニ居リマス者ハ多クハ最下級ノ慰勞二十八圓ト云フ部類ニ多クハ屬スルノデゴザイマス

○和田彦次郎君 北清事變ノ際若クハ日露戰役日清戰役等ハ眞ニ大戰爭デモアリマサルシ、餘程昭和二年三年ノ支那事變トハ趣キヲ異ニシテ居ルト思フノデアリマス、ソレデ前例ニ依テモ此比例ハ如何カト思ヒマスルガ、要スルニ出征ノ軍人外ノモノデ直接此事變ニ關係ヲ致シタモノニ限ッテ、其功勞ノ多少ヲ計ッテ論功行賞ニナルノデアッテ、之ニ關係セヌ者ニハ無論ナイ筈デゴザイマスルケレドモ、帷幕ノ中ニ居ッテ之ニ參畫シタカ何トク言ヘバ言ヘルト思フノデスガ、此行賞ナサル人選ト云フモノハ直接ニ從事シタ者ノミニ限ッテ行ヒマスカ、或ハ上海ナリ青島ナリ其他ニ向ッテ御送りニナッ

タ人、若クハコナラニ居テ自然ニ直接ノ支那事變ニ關シテ資源ニ從事シタ者ト云フ範圍ニ止マテ、其外ノ計畫策謀ノコトニ與テ者ナドガ此中ニ加ハテ居ルノデゴザイマスカ、直接ニ關係シタ者ノミナッテ居ルノデアリマスカ、ドウ云フ工合ニナッテ居ニ付テコナラカウ電報ナリ何カデ指圖ヲ爲サツテ、ソレ等ノ彼ノ地ニ直接行ッテ居ラナクテモ、内地ニ居テソレヲ電報デナリ何ナリデ指圖スルトカ退ケトカ進メトカ云フコトニ關シテ、晝夜事ニ與タカラ、是モ論功行賞ノ中ニ入ルベキモノト云フ御意味ニ於テ、是ハ調ベラレテ居ルノデアリマスカ、其邊ハドンナモノデアリマスカ

○政府委員(内田信也君) 無論支那事變其

モノニ直接關係ノアッタ者ノミヲ數ヘ上ゲタノデアリマスガ、而モ是ハマダ無論奏請スル人名モハッキリシタ譯デハゴザイマセス、唯ホンノ豫算ノ中ノ又概算トデモ申スベキモノデゴザイマスカラ、何ノ某ヲドウ斯ウスルト云フ具體的ノ所マデハ進ンデ居リマセヌ、大體支那事件ニ關係ガアッテ、又前例ニモアリマス通り、又現ニ此海軍省ノ其處ニ無線電信塔ガ立ッテ居リマスガ、ア、云フヤウナモノニ依テ日夜支那ト往復交通シテ、サウシテ支那事件ヲシテ圓滿ニ解決セシメルヤウ、所期ノ目的ヲ達セシメルヤウ

ニ働イテ吳レタ人ヲ數ヘ舉ゲル積リナンデゴザイマス、御趣意ノ點ハ能ク分ッテ居リマスルガ、人名ヲ誰ヲドウスルト云フコトマデハ陸海軍其他ノ關係ガゴザイマスカラ、先ヅ金額ガ決マッテ、ソレデ各省ト能ク打合セマシテ、内閣ニ於テ各省ノ差別ノナイヤウニシテ實行スル積リデゴザイマス

○和田彦次郎君 是ハ單リ海軍ノミヲオ尋ネ申スノデモゴザイマセヌガ、陸軍ニ於キマシテモ一口ニ申シマスト參謀本部、東京ニアル所ノ參謀本部ニ從事シテ居タ所ノ方、若クハ軍令部ニ從事シテオイデニナル御方モ此度ノ事變ニ付テ勞務ヲ御執リニナッタ事蹟ハアルダラウト思ヒマスガ、ソレ迄ニ及ブノデゴザイマスカ、ソレハ別ナンデゴザイマスカ

○政府委員(竹内友治郎君) 御答ヘ致シマス、陸軍ト致シマシテハ此表デ御覽下サレマスルト明カデゴザイマスルガ、出征人員四万デ、只今大體ノ計畫トシテ行賞サルベキ人員ハ六万デゴザイマスルカラ、約二万ノ出征イタサナイ人ニ對シテ行賞サレル計畫ニナッテ居リマス、デ是ハ大體ハ御説ノ通り直接ニ此事件ノ爲ニ大ナリ小ナリ功勞ノアッタモノニ行賞スルト云フコトハ勿論デゴザイマスルカラ、其趣旨ニ依テ致シマスノデアリマス、大體其目安ヲ申上ゲマス

ルト云フト、第三師團ニ付テ申シマスレバ此最後ニ豫備マデ動員サレタ師團ノ第一ノ補充隊ガ内地ニ澤山居リマス、是ハ矢張り多少ノ行賞ハ致サナケレバナラヌノデアリマス、ソレカラ第六師團、第十師團、是ハ留守隊ニモ何カノ矢張り行賞ヲ致スベキモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ運輸部或ハ其他ノ補給部隊ノ斯ウ云フモノハ、出征サレタル軍隊ニ對シテモ直接ナル關係ヲ有ッテ居ルノデアリマスカラ、是モ無論行賞サレマス、ソレカラ只今御指摘ノ參謀本部モ極ク大體デアリマスルガ、此度ノ出征ニ付テノ諸計畫ニ對シテ、晝夜ヲ分クズ骨ヲ折ッテ居リマス者ガアリマスルノデ、之ニ對シテモ無論或程度ノ行賞ハアルト思ヒマス、陸軍省ニモ極ク多少ハ、少ナイカモ知レマセヌガラウト存ジマス、併ナガラ此内地ニ於ケル即チ出征シナイ者ノ大多數ト云フモノハ、大部分ハ功勞ノ程度マデ至ラナイ、慰勞ノ手當ノ程度ノ最モ低イモノガ大多數ヲ占メルモノト考ヘマス、ソレデ論功行賞ハ豫テ各位御存ジノ所デアリマスガ、從來ノ大戰役デハ頭カラ申上ゲマスルト殊勳、勳功、勳勞、功勞ト云フヤウナモノデ、少ナクトモ功勞以上ノ者ガ大多數デアッタノデアリマスガ、今度ノハ其頭ノ殊勳乃至勳功ト云フガ如キハ殆ドゴザイマセヌノデアリマス、例外ガ一ツヤ二ツアルカ

知レマセヌガ、之ニ反シマシテ下ノ方ハ功勞ヨリモ、マダ其下ノ所謂慰勞ト云フ手當ノ範圍ニ屬スベキ者ガナカク、多イコトニ相成リマシテ、其多イノガ即チ出征シナイ内地ニ殘ッテ居ル二万ノ中ノ大多數ヲ占メルコトニ相成ルト思ヒマス、尙ホ是ハ衆議院デモ此御尋ガアリマシタ、出來ルダケ此兵卒階級ニ對シマシテ厚クスルヤウニト云フ御話モアリマシタ、當局ト致シマシテモサウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、兵卒ニ厚クスルト云フコトニ相成リマスルカラシテ、勢ヒ此出征シナイ内地ニ居リマス者ニモ、ナカク、數多ク慰勞手當的ノモノガ渡ルコトニ相成ルコトハ已ムヲ得ザル避クベカラザル結果デアルト、斯ウ考ヘル次第デアリマス、但シ是ガ爲ニ内地ニ於ケル高級幹部ノ廣キニ厚ッキ澤山ノ賞ヲ出スト云フコトハ、最モ慎シデ嚴密ニ致サナクテハナラヌト心得テ居リマス

○關直彦君 伺ヒマスガ、昭和二年及三年ニ於ケル出兵トアリマスガ、又現在モ支那出兵デアリマス、何時撤兵結了イタシマスルカ今日デハ豫測ガ付キマセヌガ、大體是マデノ事件ノ終了後ニ於テ、論功行賞サレタヤウニ思ッテ居リマスガ、此支那事件ニ際シマシテハ二年三年又四年度モ今回同様ニ御ヤリニナル、毎年撤兵ガ終ラヌ間ハ年々御ヤリニナル譯デアリマセウカ、引續イテ尙

ホ二年、三年、四年ニ互ニ支那ニ駐在シテ居

ヒタイト思ヒマス

リマスル者ニハ二度モ三度モヤルト云フヤ

ウナコトニ相成ルノデゴサイマスカラ、其

點ヲ一ツ伺テ置キタイト思ヒマス、ソレカ

ラ今一ツハ只今ノ陸軍省ノ政府委員ノ御話

デハ私ハ満足イタシマシタガ、成ルベク兵

隊ニ厚クシ、兵隊ニ非ザル者デモ勤勞シタ

者ニハ厚クスル、是ハ私ハ誠ニ満足デアリ

マスガ、ドウモ規則ガアルノデ仕方ガアリ

マセヌガ、是マデノ論功行賞ニ依リマスル

ト云フト、砲彈ニ中ル所ニ居ル者ニ薄クシ

テ、安全地帯ニ居ル者ニ大變ナ恩賞ヲ蒙ル

所謂一將功成リ萬骨枯ルト云フヤウナ恨ガ

アリマスルノデ、是ガ一般ノ人心ニ非常ナ

影響ヲ與ヘルト考ヘルノデアリマス、マア

何トカ殊勳トカ何トカ云フ、其地位ニ依テ

高イ勳章ヲ與ヘルトカ、或ハ殊勳ヲ與ヘル

トカ云フヤウナ規則ニナッテ居リマスカラ

仕方ガアリマセヌガ、サウ云フヤウナコト

ハ成ルベク一ツ將來ニ於テ眞ノ功勞者、生

命ヲ抛ツ者ハ將校デアッテモ兵隊デアッテモ

同ジデアアル、併シ其任務ノ種類ニ依テハ多

少兵卒ト將校トハ達ヒマセウケレドモ、成

ルベク兵卒ニモ數ガ多イカヲト云ッテ少ク

スルト云フコトデナク、同ジ命ヲ投出ス覺

悟デ行ッテ居ル者ニハ成ルベク多クノ賞與

ヲ與ヘタイト云フ觀念ヲ持ッテ居リマス、當

局ノ御方針ハ如何デアリマスカ、其點ヲ伺

○政府委員(内田信也君) 只今ノ御尋ハ誠

ニ御尤モナ次第デアリマス、此行賞ハ唯今

申上ダマシタ通り昭和三年ノ十一月十五日

マデガ事變トシテノ給與其他取扱ニヤッテ

居ルノデアリマス、實ハ濟南出兵、即チ三

年ノ四月十八日ヨリ十一月十五日マデガ事

變トシテノ給與其他ノ取扱ニナッテ居リマ

ス、是ダケガ即チ行賞一時賜金ガ出ル譯デ

アリマス、其前ノ昭和二年ノ二月一日カラ

濟南出兵ノ二年四月十八日ニ至ル迄ハ、事

變取扱ニナッテ居リマセヌカラシテ、此前ノ

部分ハ海軍ニ於テハ殊ニ楊子江ニ於テ此濟

南事件ガ起ラウガ起ルマイガ同ジヤウナ勞

務ニ服シテ居リマシタノデアリマスカラ、

濟南事變ノ取扱ヲスルモノノ部分ハ今回新

ニ勅令ヲ發布シテ、一時賜金ヲ交付スルコ

トヲ得ト云フコトニシタノデアリマス、從

テ三年十一月十五日以後ノ部分ハ此事變ニ

屬シテ居ラヌ、又今回發布サルベキ勅令ノ

範圍ニモ屬シマセヌカラシテ、行賞一時賜

金ハ十一月十五日以後ハ今後トモ新ニ或事情

ガ發生シテ新ニ勅令ガ出來テ事變取扱ニ

ナッテ來レバ別デアリマスガ、現在ニ於キマ

シテハゴザイマセヌ、尙ホ御質問ニ成ルベ

ク一將功成リ萬骨枯ルト云フヤウナ譏ヲ受

ケナイヤウニト云フ御注意デアリマスガ、

大體ニ於テ海軍ニ於キマシテハ所謂殊勳ハ

ゴザイマセヌデ、勳勞ハ最上級トシテ勳勞

功勞、慰勞トナッテ居リマスガ、其勳勞ノ方

ニ屬スル者ハ千五百二十五人デアリマス、

其中二百十八名ダケガ大體只今ノ調査ニ依

リマスルト將校トシテ其部ニ屬スルモノデ

ゴザイマシテ、多數ノ下級士官、准士官、下

士、兵卒ガ此勳勞ノ部ニ這入ル、尙ホ功勞

一万三百名程アリマシテ、將校ガ八百名程

ゴザイマス、後ハ下士兵卒ト云フヤウナコ

トニナッテ居リマス、慰勞ガ二万六千四百人、

其中デ將校ガ約千人程、大體サウ云フ風ナ

割合デ最上級ノ勳勞ノ方ニモ將校ガ割合ニ

少クテ、兵卒ヤ甚シキハ職工マデ其部ニ入ッ

テ居ルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、尙ホ皆サ

ンノ御注意ノ點ハ勿論承リマシテ、之ヲ實

行スルニ當ッテ其御趣意ニ副フヤウニ努メ

ル積リデゴザイマス

○男爵矢吹省三君 只今海軍省ノ政務次官

ノ御説明ニ依リマスルト、昨年ノ四月カラ

三年ノ十一月十五日マデガ事變トシテ、其

前後ハ事變ト見ナイト云フコトデアッタヤ

ウデスガ、何故ニ左様ナ區別ヲ御設ケニナッ

タノデアリマスカ、即チ昨年ノ四月カラ十

一月マデハ非常ナ危險ノ期間デアッタ、其前

後ハ左程ノ危險ガナイ狀態ニナッテ居ルカ

ラ事變ト見ナイト云フヤウナ理由デアリマ

スカ、何等カ理由ガアルノデゴザイマスカ

○政府委員(内田信也君) 海軍ト致シマシ

テハ、御尋ノ通り四月十八日以前モ以後モ

同ジヤウニ見テ居ルノデアリマス、即チ御

承知ノ通り楊子江ニ、南京事件當時カラ行ッ

テ居リマス第一遣外艦隊ノアノ勞苦ト、四

月十八日ノ事變終了後ニ於ケル勞苦トハ、

チットモ差別ガナイノデアリマス、故ニ行賞

スルニ當ッテハ、同ジ見地ニ基イテ行賞ヲ調

査イタシテ居リマスガ、其事變ト見ル、事

變デナイト見ルノハ、即チ給與令ニ於テ昨

年四月十八日ニ陸軍ガ動員ヲシテ出兵ヲ致

シマシタニ依ッテ、陸軍ハ濟南地方ヲ事變地

ト見ル、給與令ニ依ル事變デゴザイマス、

私ノ申上ゲルノハ即チ青島ノ第二遣外艦隊

ノアノ事變ニモ給與ヲ出シ、從テ楊子江ノ

第一遣外艦隊モ、青島ノ第二遣外艦隊ト決

シテ差別取扱ヲスベキモノデアリマセヌカ

ラ、是モ事變取扱トシタ、給與令ニ於テ事

變……戰役ノ取扱ヲシタト云フノデアリマ

シテ、行賞スルニ當ッテハ、海軍ニ於キマシ

テハ、濟南事件ノ前ノ南京事件ヨリ濟南事

件ニ至ル間モ、濟南事件ヨリ昨年十一月十

五日最終期日マデモ、同様ニ認メテ居リマ

ス

○男爵矢吹省三君 ソレカラ伺ヒタイノ

ハ、此戰病死ヲシタモノニ對シテ、將校ニ

對シテハ最高幾ラ、最低幾ラ、又兵卒ニ對

シテ最高幾ラ、最低幾ラト云フコトガ御分

リニナッテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(内田信也君) 戰病死者ニ對シ

マシテハ、昨年法律ヲ發布イタシマシタル
戰死者ニ對スル死歿賜金ト申シマスカ、ソ
レニ依ッテ死歿賜金ヲヤッテ居リマス、其死
歿賜金ハ從來ノ例ニ依リマスルト、兵卒ガ
例ヘバ極端ナ例デゴザイマスルガ、今回ノ
勅令發布マデハ、兵卒ガ死シデ二百五十圓、
大將ガ死ヌト五千圓デアッタガ、今度ハ兵卒
ガ死ヌト、從來ハ三百七十圓デアアルガ今回
ハ千三百圓ト改メタ、即チ三倍半ニ殖エマ
シテ、大將ハ五千圓デアリマスノガ九千圓
ニシカナラナイ、倍ニモナラナイヤウナ風
ナ割合デ、此間ハ之ニ準ジテ居リマシテ、
下級ノモノガ死歿イタシマシタ場合ニハ、
十分其境遇ニ同情イタシマシテ、從來ヨリ
カ多分ノ賜金ヲ與ヘルト云フヤウナコトニ
ナッテ居リマス、其他傷者ニ對シテハ、恩給
令ニ依ル傷病賜金ヲ給與イタシマスルガ、
尙ホ之ニ對シテ行賞ヲ行フ場合ニ於キマシ
テハ、十分他ノモノト較ベテ特ニ同情ヲ表
示スル積リデアリマス

○男爵矢吹省三君 陸軍ノ方ハ如何デゴザ
イマスカ

○政府委員(竹内友治郎君) 大體戰病死者
ニ對スル扱ヒニ對シマシテハ、只今海軍當
局カラ御答イタシタ通りデアリマス、此戰
死者又ハ病歿者ニ對シマシテハ、特別賜金
ノ規定ガ出來テ居リマシテ、是ハ陸海軍通

ジテノコトデアリマスカラ、當然區別ガナ
イコトデアリマス、ソレカラ今度行賞ヲ致
シマス上ニ付テ、本當ノ戰死者又戰地ニ於
テ病歿シタモノ、斯ウ云フモノニ對シテハ、
勿論手厚キ行賞ヲ致シマス考デアリマス、
左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵矢吹省三君 先程和田サンカラモ御
質問ガアッタ點デゴザイマスガ、此度ノ行賞
ヲ爲スニ當ッテ、矢張り參謀本部、陸軍省ト
カ、海軍省、軍令部等ニ於テ、謂ハバ内地
ニ於テ指揮ヲシタ幹部ノ人ニモ此度ノ行
賞ガアルモノトスルト、昨年ノ出兵ニ付テ
世間ノ一部ニ於テハ、或ハ軍人ガ自己ノ滿
足ヲ得ムガ爲ニ強ヒテ出兵ヲシタノデハナ
イカト云フガ如キ言ヲ爲スモノモ無イデハ
ナイノデアリマス、私ハソレヲ信ズルモノ
デハアリマセヌケレドモ、左様ナ疑ヒヲ一
部デハ持ツモノガアルヤウニモ思フノデア
リマス、左様ナ際ニ於テ陸軍省參謀本部等
ノ人ガ萬一ニモ此度ノ行賞ニ與カルヤウナ
コトデアリマスルト、左様ナ疑ヒ益、深クス
ル虞ガアラウカト思ヒマスノデ、此場合ニ
於テハ政府委員カラ御明言ヲ願ッテ置キタ
イノハ、左様ナ疑ヲ深メルガ如キ行賞ハ絶
對シナイト云フコトヲ斷言シテ戴ケマスカ
ドウデスカ

○政府委員(竹内友治郎君) 矢吹男爵ニ御
答イタシマス、只今仰セノ出兵ニ對シテハ

參謀本部又ハ陸軍ノ幹部ニ世間ニ於テ何カ
疑惑ガアルト云フ仰セニ對シマシテハ、甚
ダ遺憾ニ存ズルノデアリマシテ、兵ヲ出ス
ト云フコトノ統帥部ノ機關ト致シマシテ、
好ンデ何カ致スト云フヤウナ事情ハ斷ジテ
ゴザイマセヌノデ、此點ハドウゾ一ツ統帥
部ノ爲ニ、私ハ斷ジテサウ云フ疑念ヲ戴ク
コトノナイヤウニ致シタイト云フコトヲ、
特ニ此際ニ申上ダテ置キタイト存ズルノデ
アリマス、從ヒマシテ此度ノ論功行賞ニ當
テ參謀本部ナリ陸軍ノ要路ナル是等ガ重キ
論功行賞ニ與カルカ、與カラナイカト云フ
コトハ、是ハ誠ニ將來ニ於ケル内閣ノ詮議
ニ屬スルノデゴザイマスカラ、アルトモ無
イトモ此際言明イタスコトハ出來マセヌ
ガ、前ニ御答イタシマシタ所デ明カニナル
デアラウ如クニ、主トシテ此出兵ヲ致シマ
シタ即チ海外ニ出兵イタシタル、即チ海外
ニ出征ヲシタルモノヲ主ト致シマシテ、内
地ニ居ル者ト之ニ直接ニ關係ノアル以外ノ
モノハ斷ジテ致シマセヌ、殊ニ最高幹部ニ
居ルモノノ如キハ無論多少ノ關係ハゴザイ
マスルケレドモ、出來ルダケ斯ウ云フ方ハ
少ク致スト云フコトハ當然ノ心掛ダト考ヘ
テ居ルノデゴザイマスルカラ、ドウゾ其程
度ニ於テ御承知置キヲ願ヒタイト存ジマス

○男爵矢吹省三君 支那事件ノ爲ニ出征シ
タ陸海軍軍人ノ其勞苦ニ對シテハ斯ノ如キ論

功行賞ヲスルコトガ必要デアリ、又セネバナ
ラヌコトト私共ハ思フノデアリマス、唯併
シ昨年ノ山東出兵ニ關スル問題ダケデ見
マスルト、當時出兵ヲシテ斯ク多數ノ兵員
ガ山東方面ニ出動シタ、然ルニモ拘ラズ不
幸ニモ當時十數名ノ在留邦人ハ虐殺サレ、數
十名ノモノハ掠奪等ニ遭ヒ、所謂生命財産
ニ相當ナ被害ガアッタノデアリマス、ソレハ
誠ニ遺憾ナコトデアリマスルガ、是等ニ付
テ議會ノ議員ノ質問ニ陸軍當局等ガ答ヘテ
曰ク、ソレ等ノ人ハ警備區域外ニ出タ爲ニ
誠ニ遺憾デアッタガ、ドウモサウ云フ損害ハ
仕方ガナイ、一口ニ言ハハ自業自得ダト云
フヤウナコトデ被害者ハ今日ノ所、全ク救
濟ノ途ガナイノデアリマス、而シテ出兵シ
タ目ノ左様ナ被害アラシメナイガ爲ニ出兵
シタニ拘ラズ、不幸ニモ斯ノ如キ被害ガア
タ、而シテ其被害者ニ對シテハ何等救濟ノ
途ガナイ、斯ウ云フコトデアッテハ誠ニ何ノ
爲ノ出兵デアッタカ其目的ヲ疑フノデアリ
マス、而シテ只今問題トナッテ居リマスル
行賞ハ、陸海軍軍人ニ對シテハ此際立下
コロニ行賞ニナリ、一方濟南ニ於テ虐殺サ
レタ人々ノ被害ハ其儘ニ放置サレテ居ルト
云フコトハ如何ニモ均衡ヲ得ナイコトと思
フ、昨年出兵當時ニ於テ、政府ガ聲明サレ
タ在留人保護ト云フ其御趣旨カラ見テ、斯
ヤウナ被害者ヲ其儘放置シテ置クト云フコ

トハ遺憾ナコトグラウト思フ、ソコデ斯カル陸海軍ニ對スル行賞ヲ爲サントスル此際ニ於テ、政府ハ濟南ニ於テ昨年斯ノ如キ虐殺ヲ受ケタ人ニ並ニ其他財産上ノ損害ヲ受ケタ人ニ付テ如何ナル御處置ヲ御執リニナル積リデアルカ、ソレ等ハ只一ニ今後ノ支那トノ交渉ニ於テ、支那カラ賠償ヲ得ラレルソレニ依ッテ彼等ノ被害ヲ賠償シテヤルト云フコトノミニ御考ヘニナッテ居ルカ

ドウカ、而シテ此支那カラ賠償ヲ得ルト云フコトハ確實ニ得ラレルト云フ御見込ヲ持ッテ居ラシヤルノデアリマスカ、一口ニ申セバ、濟南ニ於テノ被害者ニハ如何ニ之ヲ救済サレル積リデアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、尙ホ又濟南以外ニ於テモ陸海軍ノ出動ヲ必要トスルヤウナ事態デアッタガ爲ニ邦人ノ被害ガアッタと思フノデアリマスカ、ソレ等ニ對シテ如何ニ爲サルノデアルカ、此行賞ヲ爲スニ當ッテ政府ノ御考ヲ伺ッテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(森格君) 只今矢吹男爵ノ御質問ニ對シマシテハ私カラ御答ヘ申上ゲマス、先日御水知ノ通り、救恤金ノ委員會ガ開カレマシタ際ニ、只今ノ御質問ニ類スルヤウナ質問ガ度々繰返サレタノデゴザイマス、濟南事件ニ於テ、不幸ニ遭遇イタシマシタ邦人ノ救恤等ノ事柄ニ付キマシテモ、政府ハ近ク他ノ一般救恤ヲ要スル事項ト共

ニ一括イタシマシテ、必要ノ處置ニ出デタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其要旨ハ貴衆兩院ノ各委員會ニ於キマシテ、言明ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、目下其方針ヲ以テ、ソレノ必要ノ事項ヲ取纏メ中デゴザイマス、此件ト目下進捗中デアリマスル、日支交渉事件ト關聯イタシマシテ御答ヘ申上ゲマスコトハ、此場合差控ヘタイと思ヒマス

○男爵矢吹省三君 只今政府委員ノ御答辯ニ依ッテ、救恤ノ御考ノアルト云フコトヲ伺ヒマシテ其點ハ満足ヲ致シマシタ、唯、其救恤ハ相當ニ矢張り金ガ要ラウト思フノデアリマスガ、追加豫算ヲ御出シニナルトシマスレバ、今明日ニ會期ノ切迫シテ居リマスカラ、今日或ハ明日デモ御出シニナラナケレバナラス、然ラザレバ責任支出ヲサレナケレバナラスと思ヒマス、兎ニ角、斯ウ云フ陸海軍ノ論功行賞ヲスル場合ニ於キマンテハ、當然ソレガ伴ッテ考ヘラレナケレバナラス所ノヤウニ思ヒマスニ係ラズ、其救恤問題ガ後廻ハシニナッテ、行賞ノ方ハ取敢ズ審議スルト云フコトハ誠ニ均衡ヲ得ナイコトノヤウニ思ハレルノデアリマス、強ヒテ之ヲ言フナラバ、陸海軍ノ出兵ハ所謂出征セムガ爲ノ出征デアッテ、邦人保護ノ目的ト云フモノハ付ケタ名前デアルト云フ如キ惡口ヲ言ハス餘地ガ殘ルカト思ヒマ

ス、從テ此論功行賞ヲ爲サント欲スルニ當テハ、同時ニ救恤ノ法案ヲ御出シニナルベキモノト思フニ係ラズ、ソレヲ御出シニナラヌト云フノハ、ドウ云フ理由ガアルノデアリマスカ、之ヲ重ネテ伺ヒマス

○政府委員(森格君) 今回ノ事件ニ付キマシテ論功行賞ノ行ハレル際ニ、救恤スベキ方面ニ對シマスル救恤ノ方法ヲ同時ニ講ジナイト云フコトハ只今矢吹男爵ノ御指摘ニナリマシタ通り、考ヘヤウニ依ッテハ誠ニ遺憾デアリ、我々モ斯様ナ事柄ハ片付ケ得ル限り速ニ片付ケルト云フコトガ至當ト思フノデアリマスガ、而シ又實際ニ臨ムデ考ヘテ見マスルト軍人、官吏等ノ賞罰ヲ明カニスル場合ト一般居留民ガ蒙リマシタ事件ニ對スル救恤、救済等ノ問題ハ、其複雑サ、或ハ事情ノ實際ト云フコトニナリマスルト、テキパキ實行キ兼ネル點ガ多々アルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ遺憾ノ點モ多々アリマスルガ、實情ハ止ムヲ得ナイ點ガ又他ノ一面ニ於テ認メラレナケレバナルマイト思フノデアリマス、現ニ此議會ニ於テモ問題ニナッテ居リマスル救恤、救済ヲ要スル問題ノ中デ或ハ尼港事件ニ對スル事柄デアルトカ、或ハ對獨戰爭ニ關スル事柄デアルトカ、或ハ環春事件其他各種ノ事件ニ伴フ所ノ救恤、救済等ノ問題ガ殘テ居リマスルガ、前内閣乃至前々内閣以來、

此問題ニ付テハ屢、頭ヲ費サレテ居ルニ拘ラズ、今日ニ至ル迄モ尙ホ片付イテ居ラナイモノハ、ナカク複雑ナル事情モアルノデアリマシテ、希望ト致シマシテハ事件々々毎ニテキパキ片付ケルト云フコトガ宜イトハ認メテ居リマスレドモ、實際事情止ムヲ得ズシテ延ビノミナッテ居ルノデアリマスノデ、政府ニ於キマシテモ是等ノ點ハ甚ダ其目的ニ鑑ミテ遺憾ニ考ヘテ居リマスル結果、今回、是等從來引續イテ問題ニナッテ居リマスルモノヲ一括イタシマシテ適當ノ處置ニ出デタイト云フ考デ、前申上ゲマシタ通りノ態度ニ出デタイト思ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○男爵矢吹省三君 政府ノ御考ノアル所ハ分リマシタ、デ今御説ニアリマシタ通り、從來モ尼港事件ニ對スル救恤トカ、環春事件ニ對スル救恤トカ云フヤウナコトハ矢張り重ナッテ參ルト其未解決ノモノガ相當古イモノガ殘ッテ居ルコトハ誠ニ不愉快ナコトニモ思フノデアリマス、而シテ御話ノ通り、是等ノ救恤ト云フコトハ複雑デアルト云フコトカラ急ニ運ビ得ナイト云フ關係モアリマスレドモ、今後ニ於テハ左様ナ懸案ヲ成ルベク多ク殘サヌヤウニ願ヒタイと思ヒマス、デ此場合、論功行賞ヲスルニ當ッテモ救恤ノコトモ努メテ早ク御決定ヲ願ヒタイト希望ヲ致シテ置キマス、尙又序デニ伺ヒ

タイノハ、昨年ノ濟南事件ニ於テ邦人ノ被害ノ程度、即チ救恤ヲスルトスレバ此位ノ金額デ濟南事件ハ濟ムグラウト云フ大凡ノ目安ガ御調査ニナッテ居リマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(森格君) ソレ等ニ付キマシテノ調査ハ出來テ居リマスガ、併ナガラ自然、是等モ目下進捗中ノ日支交渉法案件ニ關聯ヲ致シテ居リマスノデ、此場合、發表ヲ差控ヘタイト考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 重ネテ伺ヒマスガ、日支交渉ガ纏ラナケレバ矢張り濟南事件ニ付テノ救恤ヲ爲シ得イト云フヤウナコトデアリマスガ、日支交渉ガ纏マラス場合、ソレガ半年先キニ纏マラスコトカ、一年先キニ纏マラスコトカ云フ場合ハ、ソレト離レテ救恤ハ兎ニ角スルト云フコトデアリマスガ

○政府委員(森格君) 其點ニ不可分トハ考ヘテ居リマセヌ、可分ニ考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 尙ホ先程申シマシタ通り、議會ノ會期ハ明日デ盡キルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ救恤ヲスルトスレバ何レニシロ責任支出ト相成ルグラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(森格君) 支出ノ點ニ付キマシテハ、此議會ニハ仰セノ通り最早間ニ合ハナイコトハ明カデアリマスガ、未ダ其點迄ノ考ヲ申上デル時期ニ達シテ居リマセヌ

○男爵矢吹省三君 甚ダ諄イヤウデアリマスガ、ソレハ遅クモ此次ノ議會、本年末ノ議會ニハ是等ノ救恤ノ法案ガ出ルモノト承知ヲ致シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(森格君) 必シモ次回ノ議會ニ提出イタスヤウニ致スカト云フコトニ對シマシテハ此場合明カニ御答ヲ致シ兼ネマス、併ナガラ先程申上ゲマシタ基礎觀念ノ下ニ此問題ニ處シテ居リマスルカラ極メテ近キ中ニ具體案トシテ生レ出ルモノト御了解ヲ願ヒマス

○男爵矢吹省三君 政府委員ノ言明ヲ信ジマシテ此救恤ハ近キ中ニ解決スルモノト私ハ信ジマス、之ニ依ッテ私ノ今ノ問題ニ付テノ質問ハ終リマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デセウカ、外務關係ハマダゴザイマスガ

○男爵矢吹省三君 モウ宜シウゴザイマス、陸軍ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、先程、御説明ノ中ニ此度ノ行賞ニハ賜金ガ少イト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、昨年濟南ニ於ケル事件ノ當時ハ少數ノ兵ヲ以テ大軍ニ當ッテ孤軍奮闘シタ我ガ陸軍ノ將卒ハ可ナリ勇敢ナ働キガアッタモノト思ヒマス、從テアノ際ニ於テハ殊勳者ガ相當アッタデアラウト考ヘラレマス、其少イト云フ譯ハドウ云フ譯デゴザイマスガ

○政府委員(竹内友治郎君) 私ハ大體ノ見

當ヲ申上ゲタノデアリマスガ、成程、昨年ノ濟南事變ノ際ニ於キマシテ拔群ノ働キヲ致シタ者モアリマスルガ、比較的ニ少イト申上ゲマシタノハ、從來ノ北清事變以來ノ色々ノ戰役ニ比較シテ申上ゲタ言葉デアリマスルガ、既ニ此表デ差當リ御覽ヲ願ッテモ明カデゴザイマスルガ、割合ノ上カラ見テモ、此度ノ行賞賜金ノ工合ト云フモノハ非常ニ少イノデアリマスルガ、是レ即チ殊勳トカ勳功トカ云フモノガ少クテ勳勞以下ノモノガ比較的多イ、自然斯ウ云フ結果ニ相成ルト云フ目安ノ下ニ組ミ出シタノデアリマシテ其意味ニ御承知ヲ願ヒマス

○關直彦君 モウ會期モ大分切迫シテ居リマスカラ、成ラウコトナラバ質問ヲ打切ッテ討論ヲ爲サツテ進ムト御決定ニナッテハ如何デスカ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デセウ、只今、關サンノ質問ヲ止メテ討論ヲシテ之ヲ採決シタイト云フ御意見デアリマスガ、如何デアリマスガ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ是デ質問ハ終リニシテ置キマス

○關直彦君 ソレデヤ意見ヲ申上ゲテ宜シウゴザイマスガ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス、關君

○關直彦君 私ハ此案ニハ賛成イタシマス、致シマスガ、甚ダ遺憾ナガラ賛成イタス者デアリマス、不幸ニシテ今日ハ總理大臣、陸軍大臣ガ御出席デアリマセヌカラ、申シテモ無駄ナコトトハ思ヒマスルケレドモ、我々國民ト致シマシテハ此濟南出兵ニ付テ多大ナル國費ヲ使ヒ、剩ヘ我ガ同胞ノ生命ニ危害ヲ受ケ、甚大ノ損害ヲ受ケ、而シテ未ダ其得ル所ガ明カデナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、私共ノ考ト致シマスルト云フト、濟南ニ出兵ヲ致シマシタノハ、我ガ同胞ノ生命財產ヲ保護スルト云フ御趣旨ニハ相違アリマセヌケレドモ、生命財產ヲ保護スルニハモット安全ニ、モット金ノ掛ラナイ方法ガアッタラウト思フ、然ルニ遮ニ無二、千軍萬里、支那ノ内地濟南マデ大兵ヲ出兵サセテ、加之、我ガ同胞ノ安全ト云フコトモ全ク目的ヲ達スルコトガ出來ズ、之ニ反シテ支那國民ノ非常ナル惡感ヲ買ヒ、延イテハ我ガ日支貿易ノ上ニ於テ大損害ヲ被ッテ、直接ノ損害ハ出兵費ノ何千萬圓ト云フ損害デアアルノミナラズ、間接ノ損害ハ殆ド測リ知ルベカラザルモノガアル、ドウ見マシテモ、ドウ辯護ヲシタクテモ、此濟南出兵ニ對シテハ辯護ノ言葉ガアリマセヌ、國民ト致シマシテハ實ニ遺憾千萬ト思ッテ居ル、而シテ尙ホ今日モ其問題ガ解決セズシテ撤兵スラモ出來ナイ、日々日ヲ重

ネテ行クト云フコトハ國民トシテハ實ニ堪ヘラレナイノデアリマス、此點ニ付テハ非常ニ私共遺憾ニ思フ居リマスガ、併シ命令ヲ受ケテ外國ニ出征シタ、生命ヲ賭シテ働イタト云フ將校士卒或ハ從軍者ガ功勞ハハドウシテモ國家トシテハ一日モ早ク論功行賞ハヤラナケレバナラヌノデゴザイマスカラシテ、此出征ノ功勞ニ對シテノ論功行賞ハ全部賛成ヲ致シマス、ドウカ此目的ニ適ヒマスルヤウニ致シテ、功勞者ニ對シテノ論功行賞ハシテ戴キタイト思ヒマス、但シ濟南出兵ト云フコトハ返ス〜モ國民ノ甚ダ遺憾ト思フ居ルト云フコトダケヲ申上ダテ置キマス

○男爵矢吹省三君 私モ只今ノ關君ノ御意見ニ全部御同感デアリマス、サウシテ甚ダ遺憾デアリマスガ、已ムヲ得ナイト思ヒマス、軍人ニ對スルコトハ、ソレトハ別問題ト思ヒマスカラ、私モ賛成イタシマス

○和田彦次郎君 私ハ本案ニ對シテ賛成デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 左様イタシマス、他ニ御意見ハゴザイマセヌデスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御意見モナイヤウデアリマスカラ採決ヲ致シマス、此法案ニ付キマシテ只今採決スルノニ付キマシテ、賛成ヲスルニ付キマシテ、御意見モゴ

ザイマシタカラ、其意見ノ下ニ於キマシテ御兩君ノコトハ本會議ニ發表イタシタイト思ヒマス、其意味ト和田君ノ賛成ト云フノガアリマシタカラ、此場合ニ於キマシテ全會一致ヲ以テ之ヲ賛成イタシタモノト看做シテ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 左様イタシマスレバ是全會一致ヲ以テ可決イタシタモノト認メマス、是デ委員會ヲ閉ヂマス

午後三時十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松平 賴壽君

副委員長 和田彦次郎君

委員

子爵毛利 高範君

男爵矢吹 省三君

關 直彦君

平田 吉胤君

政府委員

外務政務次官 森 恪君

外務書記官 坪上 貞二君

大藏參與官 山口 義一君

大藏書記官 川越 丈雄君

陸軍政務次官 竹内友治郎君

陸軍二等主計正 矢部 潤二君

海軍政務次官 内田 信也君

海軍主計中將 加藤 亮一君

海軍主計大佐 佐々木重藏君